

中国秋季リーグ戦男子1部 Final stage 及び「Giving Campaign 2023 (寄付キャンペーン)」 結果報告

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

10/28、29 に広島県猫田記念体育館において、中国秋季リーグ戦男女1部 Final stage が開催されました。

広島大学男子の結果は、以下のとおりです。

vs 広島修道大学

○3-0 (25-12、25-17、25-21)

vs 東亜大学

●0-3 (25-27、17-25、12-25)

vs 島根大学

○3-1 (25-15、25-27、25-20、25-20)

(広大バレー部 X (Twitter))

<https://twitter.com/hirodaiVOLLEY>

今年の秋季リーグ戦は、3週間で5セットマッチを10試合行う厳しい日程でしたが、誰一人6ローテをフル出場することなく、メンバーを入れ替えながら戦えたことは非常に良かったと思います。大きな怪我もなくリーグ戦を戦い抜くことは、試合内容や試合結果よりも大切なことです。パフォーマンス面では一長一短の部分が全ての選手で目立ち、満足した人は一人もいないと思いますが、怪我をしてしまうとその反省や悔しさを生かすことができません。全日本インカレまであと1か月、まだ戦える、まだ良くなるための体が残っていることを前向きに捉えて、心を乗せて練習に取り組んで欲しいと思います。

秋季リーグ戦の最終週と言うのは、どのチームにとっても非常に難しく、東亜大学が広大戦でミスを連発したり、広大が見せた隙を島根大学が逃さなかったり、真夏の練習で培った真のチーム力が問われる舞台となっています。女子1部最終戦では、今年のリーグ戦負けなしだった環太平洋大学を、59期の西先生率いる至誠館大学がフルセットのデュースで破る

名勝負がありました。今春 2 位の至誠館大学は苦戦続きの秋季リーグ戦でしたが、最後の最後に素晴らしいパフォーマンスを発揮し、夏からの地道なチームづくりが報われ、会場に感動を生み出しました。真夏と真冬にチームと正面から向き合うことの大切さを改めて教えていただいたように思いますので、広大としても次の冬と夏の過ごし方に活かして欲しいと思います。

さて、「Giving Campaign 2023 (寄付キャンペーン)」においては、連日のメール配信となり大変失礼いたしました。皆様にご協力いただいた結果、昨年より順位を二つ上げ 3 位となりました。期間中の寄付件数は、投票数で圧倒的 1 位のヨット部と同数で 1 位となり、たくさんの方々からご支援いただいたことを改めて実感しております。温かい応援メッセージのみならず、ご家族、ご友人・知人、生徒さんにも呼びかけていただいた皆様、本当にありがとうございました。具体的な配分額の情報が入るのはおそらく相当先になりますので、次回同窓会総会にてご報告できればと考えております。

なお、2 位の軟式野球部との票差はわずか 4 票でしたが、バレー部がもう何十票伸ばしてもこの結果は変わらなかったと思います。先日もお伝えしましたが、本メーリングリストは約 130 名の同窓生の皆様にお送りしておりますが、同窓生は全員で約 670 名いらっしゃいますので、登録率だとわずか 19.4%です。また、地域の企業、お店から信頼され、支援いただけるつながりを作る必要性にも気付かされたところです。本キャンペーンの次回があるなしに関わらず、この 2 点の課題を克服していけるよう取り組んでいきたいと思っております。引き続きご支援賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

今週土曜日はいよいよ、広島大学北体育館において秋季リーグ入替戦が行われます。

2 部 1 位の広島大学女子は、1 部 6 位の広島国際大学と対戦します。

1 か月前の練習試合では 15 点も取れなかった相手で、先の至誠館大学にも勝利した相手ですが、入替戦は何が起こるか分かりません。

引き続きよろしくお願いいたします。